

長い峠の麓（ふもと）
の街の一階男女広
間乱交パーティー

いろいろ世の中にはあるが・・・。

夕日の当たる場所へ。

そんなコンセプトを持って停車場を出
発したバス。

バッグやトランクを持った男女たちは
バスへ乗り込んで車窓を見てい
た・・・・・・・・・・・・・・・・。

みんな裸になる気満々である。

細身の体に密着したTシャツの裾をそつと指で掴む人妻のミナハ。

もちろん普段は旦那と激しいセックスの夜だ。

車窓の外は川が流れ、森の裾野は春終わりの草木でいっぱいである。

運転手さんから

少し眠たそうなアナウンスが入った。

「・・・・・・・・あと少しで到着します。

皆さん、準備をしておいてください」

バッグを持ちバスを降りるメンバーたち。

「へーへー、いーところじゃんっ！！」

・ ・ ・ ・ 温和な場所。

それは小さな旅館だった。

近くに川音が聞こえる。

近くにスーパーや土産物屋もある。

真っすぐに国道が通っている。

くねくねとした峠の近くの温かな場所だ。

旅館の玄関は石床で広く、

中はシンプルな作り。

数部屋あり主要が一階大広間である。

旅館に到着した参加者。

男女たちは玄関で履き物を脱ぐ。

国道の車音が届く。

やけに平穏な一日目の夜・・・・・・・・。

メンバーでたった一人だけ田舎出身の
モハナは

少し懐かしい気持ちになっていた。

「へー、こんないいところもあるんだ
ねーっ」

そっとジーンズの太もも部分に手を添
えてこれからの期待にふくよかな胸を

弾ませる・・・・。

白く小さな模様の入ったキャミソールの胸部を少し横から触って見せた。

「きゃはっ！！！！なんだか楽しみっ！！」

旅館はそれほど大きくない。

しかし庭園に植えた木や花は美しく、

ここへ来た甲斐があるなどと話しながら向かった。

そしてバッグを旅館玄関にあずけて部屋の鍵をもらった。

「まだ・・・・・・・・」

・・・・・・・・・・夜まで時間あるし、ど
っか気晴らしに散歩でも行こう
よ！！！！

皆が大賛成っっ！！

もちろん・・・・・・・・散歩の後は・・・・・・・・

・・・・・・・・・・だよね！！

皆、顔を赤らめウィンクし合った。

男女たちは着のみ着のまま・・・

駆け足で旅館の下駄だけを履いてゆっくり川辺の方へ向かった。

夕日が薄い雲に沈みかかっている。

太ももがむっちり女子は草の生えた川
辺でキャピキャピしている。

晴れが続いている最近。

川の流りは浅く、かすかに川の音が聞こ

えてくる。

男女計この時は6人。

あとから別のバスで追加に3人くることになっていた。

後から来る予定なのはユキタと女性二人ユナとミイナだ。

涼しい気候。

通りかかる時に道路沿いにいろいろな店もあつたりして。

駄菓子屋、土産物屋、釣具屋。

そんなことを横目に、スカートの女子たち。

白いキャミソール胸元がぽっこり膨れている。

河川敷近くまで行くと・・・・・・・・。

更に女子たちのキャミソールのふくらみが大きくなった。

秒を追うごとに大きく成長しているのだ。

川辺の草木は爽やかそのもの。

風が脇に当たり・・・大きく背伸びをする女子たち。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)